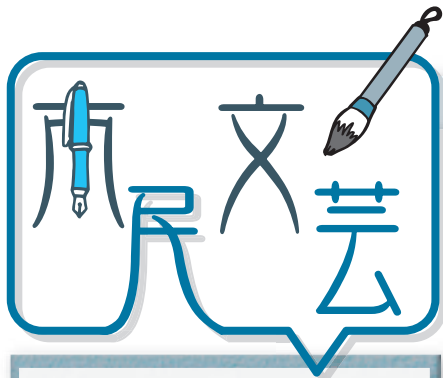




教室紹介

多久スポーツピア

みどりFC

チームプレーの
楽しさを上達
しながら学ぶ
元気なジュニア
サッカーチーム
です



県大会ベスト4入りを目標に、各種大会にも挑んでいるみどりFCメンバー

緑が丘小少年サッカーチームの伝統を受け継ぎ活動する『みどりFC』は、北部小、南部小校区へとエリアが広がり、2～6年生の児童35人が所属。仲間が仲間を呼び込む人気の教室です。子どもたちに「頼れる存在！」と慕われる末吉浩昭監督、鳥井武・藤井康輔コーチ指導の下、基本的なボールコントロールから上達法メニューをこなし、ミニゲームで

仕上げます。サッカーの技術向上だけでなく、あいさつやルールを守るなど、心身の成長にもなる場で、毎週月・水・金・土、陸上競技場で続ける練習は、みんな熱心。監督は、「サッカーの楽しさを学び、中学生になっても役立つ基本的な力をつけてほしい。練習日以外もボールを蹴るよう心がけて！」と言葉を贈り、それぞれの成長と活躍を楽しみにされています。

短歌

《麦の芽短歌会 互選》

子や孫を案じつつけしひと世かとたらちね想ふ果つる日近く
「おおいお茶」の言葉なつかしコマーシャル亡き夫の声耳に残れり
鍵盤に小さき手指の乱舞せり盲目少年神の手ほどき
じりじりと照りつける太陽に赤々と咲き誇りいるカンナの凄み
消燈を忘れし深夜の畳の上バタ一匹飛び立つ姿勢

内田 龍子
本村 則子
田淵ミチ子
福島那智子
尾形 節子

俳句

《楷樹句会 互選》

うつし世に拗ねし如くに遠花火
雷鳴や祖母桑原と口ぐせに
孔子廟風も光るや夏木立
余生にもときめきのあり星合う夜
浜木綿や色白なりし母の顔

不二見恵美子
大坪 蒙仁
松尾 孤杖
今泉 節子
納富 芦風

川柳

《多久川柳会 互選》

ふる里の風はいつでも母の色
準備した辞書は枕に早変わり
目配せし二人で消えた盆踊り
子も孫も居て幸せの米を研ぐ
短い命あらん限りのセミの声

井上 東子
富安 正喜
松下 修
木下 ユキ
猪ノ口昭子

人権教育 子どもに

No. 150

「受け継ぐ」

パラパラと本をめくっているところ、
《最近紙おむつが高性能になりました。3回分のおしっこをためることができるオムツがあるそうです。3回までは大丈夫と書かれているからと、実際に、3回までオムツを替えないお母さんがいます。将来、その子が大人になり、そのお母さんを紹介する側に回ります。そうやって育てられた子が、どうして「おばあちゃん気持ち悪いやろ。オムツを替えようね」と言えるのでしょうか。

「まだ2回だから大丈夫だよ、おばあちゃん、我慢しとき」としか言えないのです。...」
ドキッとした。私の子育ての中にも同じようなことをやっていた記憶が...。
優しい子に育ってほしい。賢い子に育ってほしい。明るい子に、人の痛みがわかる子に育ってほしい。我が子の成長を願いながらまた、子どもに沢山の期待を寄せながら子育てをしたのですが、でも子どもは一人では育ちませんね。親が育てるのですよね。その子に関わっていく大人がそう育てるのですね。
「育てたように育つ」
この言葉が今更ながらに身にしみました。いつか子どもとの世話になる時がくるでしょう。その時、自分がしてきたように世話されると思うと...。

社会教育指導員 野中久美子